

**第11回 市民フラザ跡地複合施設 管理運営ワークショップ
プログラム**

資料1

日時：平成26年5月21日（水）14：00～16：00

場所：本庄市役所 職員厚生室

プログラム

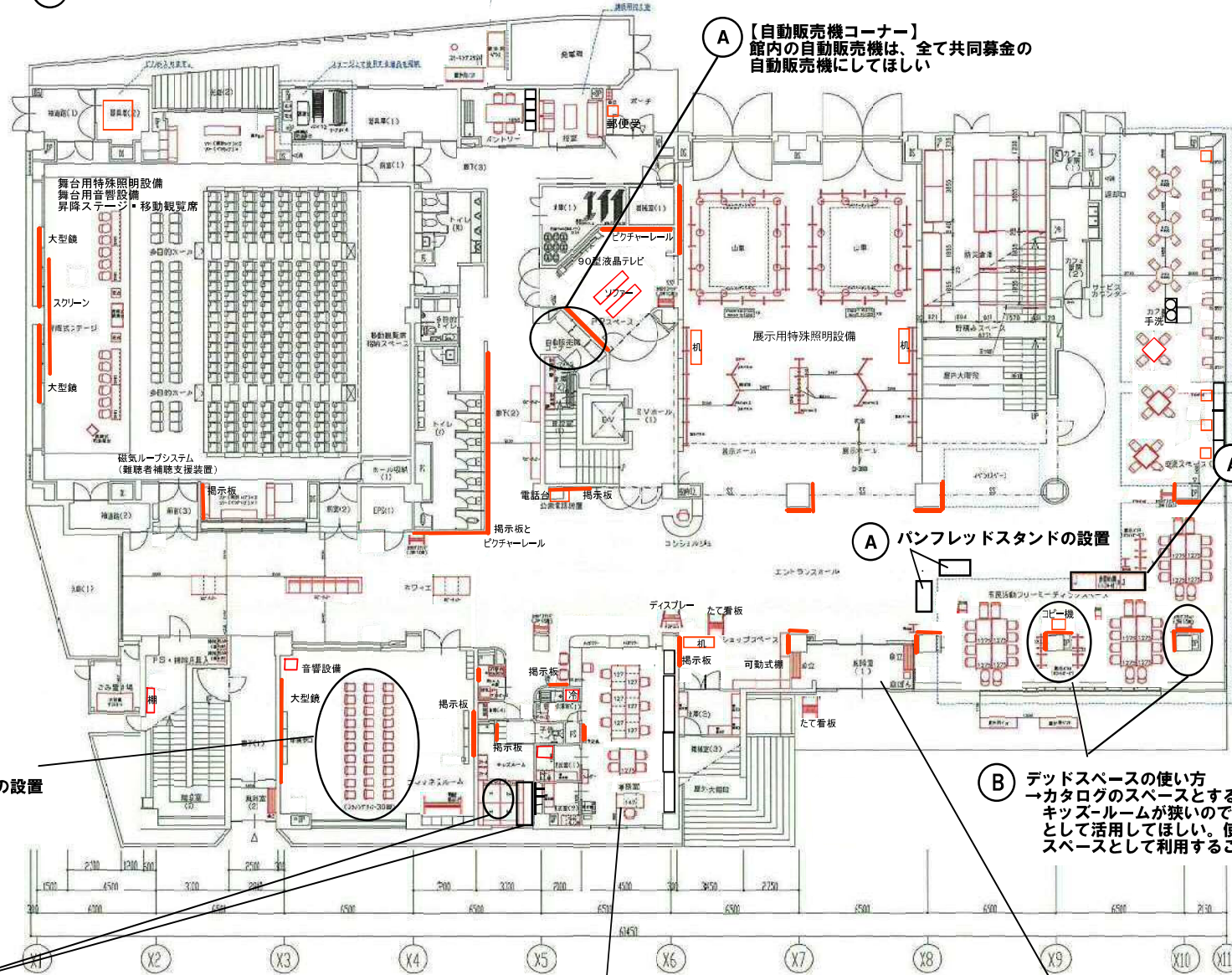
時 間	内 容	備 考
～14:00	受付 ・ 3グループに分かれます	
14:00～14:05	(1) 今日の進め方【5分】	資料1
14:05～14:15	(2) 前回のふりかえり【10分】 ・ ワークショップのまとめ ・ なんでもアンケートのまとめ	資料2 資料3
14:15～14:25	(3) 今日のテーマに関するレクチャー【10分】 ・ 「展示ホール及びPRスペースの仕様」「具体的な活用方法と課題」の説明	資料4
14:25～15:30	(4) グループワーク【65分】 テーマ『展示ホール及びPRスペースの活用について』 ■手順 1. 個人作業 模造紙の項目に沿って、思いついた意見やアイデアを簡潔に付箋に書き出します。(発言した意見やアイデアが議論の途中で消えてしまわないように書き出します) 2. 意見出し 全員が順番にグループ内で簡単に説明をしながら、付箋を模造紙に貼ります。(同類の意見は、後でまとめやすいように近くに貼ります) 3. グループ意見のまとめ 個々の意見を整理し、発表しやすいようにグループの意見としてまとめます。 ■注意点 ・ 今日のリーダーを中心に話し合いを進めます ・ 全員が発言できるように配慮しましょう ・ 時間配分に気を付け、議論漏れがないようにしましょう ・ 適宜休憩を挟みながら進めましょう	
15:30～15:50	(6) 各グループからの発表（全体会）【20分】 ・ 各グループのリーダーが話し合いの過程や意見をまとめて発表します（1グループ7分程度で…） ・ 他グループの発表で疑問点があれば質問しましょう	
15:50～16:00	(7) 次回の予定、メンバーからのお知らせ、アンケート【10分】 ・ 次回の課題について説明します（課題告知、開催通知配布） ・ メンバーからイベント等のお知らせがあればお願いします ・ 「なんでもアンケート」への協力をお願いします	資料5

第10回『備品について』

- (A) Aグループの意見
- (B) Bグループの意見

1階

資料2



(A) 【自動販売機コーナー】
館内の自動販売機は、全て共同募金の自動販売機にしてほしい

(A) ファイルだけでなく、各団体の広報誌が置けるパンフレットスタンドも設置してほしい

(A) パンフレットスタンドの設置

(B) デッドスペースの使い方
→カタログのスペースとするのは物体ない。
キッズルームが狭いので、子どもの遊べるスペースとして活用してほしい。使用しない時は、荷物を置くスペースとして利用することもできる。

(A) 【事務室】
・建物を管理する事務局(室)は1つの方がよい
・市民に分かりやすい部署名にした方がよい

(A) 【風除室】
傘袋サービス機の設置
(自分で入れられるモノでよい)

(B) 鍵付きの傘立ては鍵の紛失の可能性があるため、鍵なしの傘立ての方がよい

(B) 【フィットネスルーム】
軽くて、移動しやすい椅子の設置

(B) 【キッズルーム】
・狭いキッズルームにマットを設置すると、子どもの遊ぶスペースが狭くなるだけ。もし設置するのであれば、片付けのしやすいモノをフリーミーティングスペース等に設置してほしい。
・ロッカーの設置
子どもを連れて出掛けると荷物が多くなる。床に荷物を置くと子どもが怪我をする可能性もあるため、ロッカーを設置してほしい。絵本やおもちゃ等を置くスペースとしても活用できる。

2階

A 【コインロッカー】
・月契約ではなく、年契約が
望ましい
・設置台数を増やして欲しい

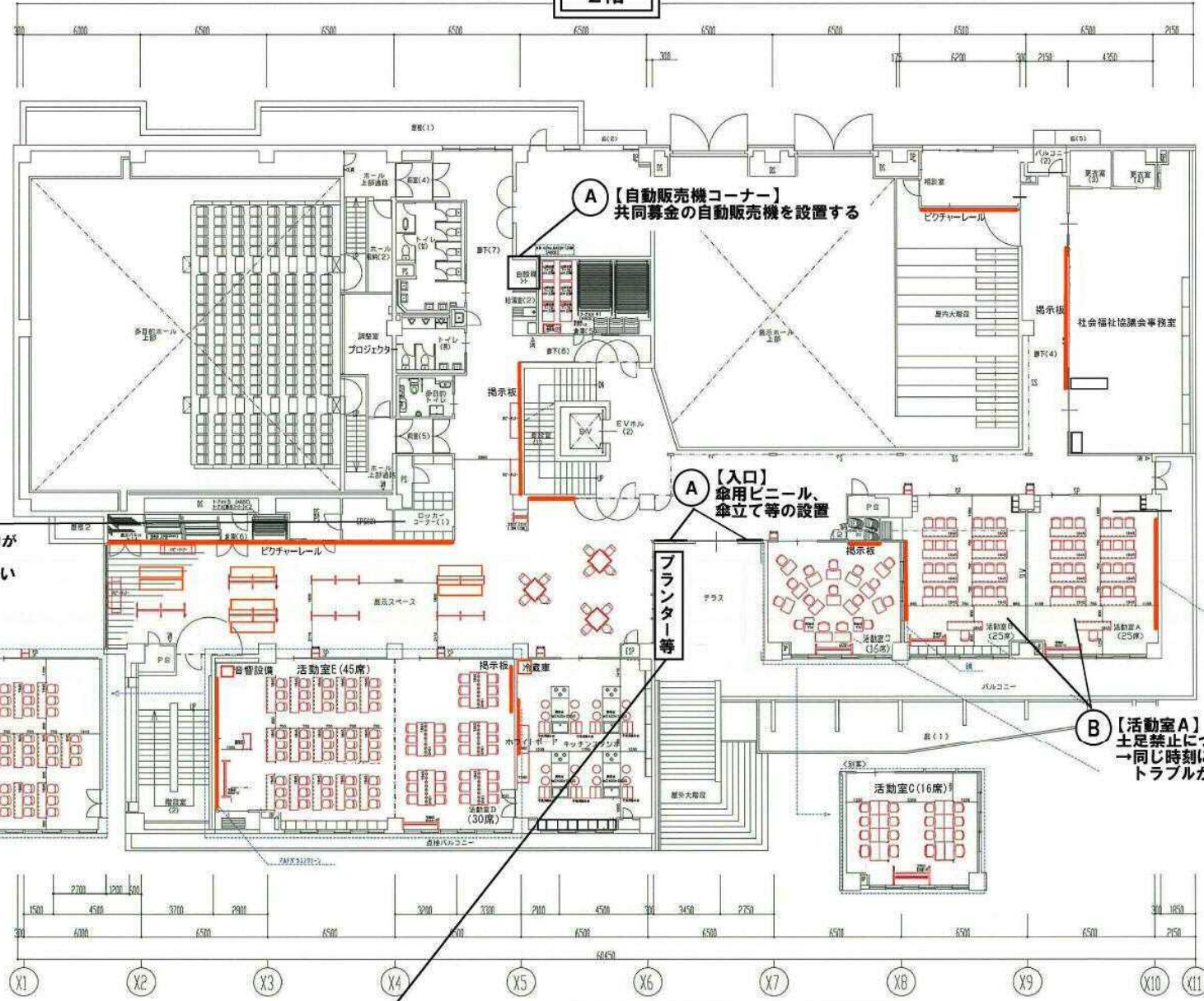
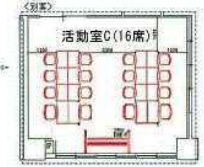
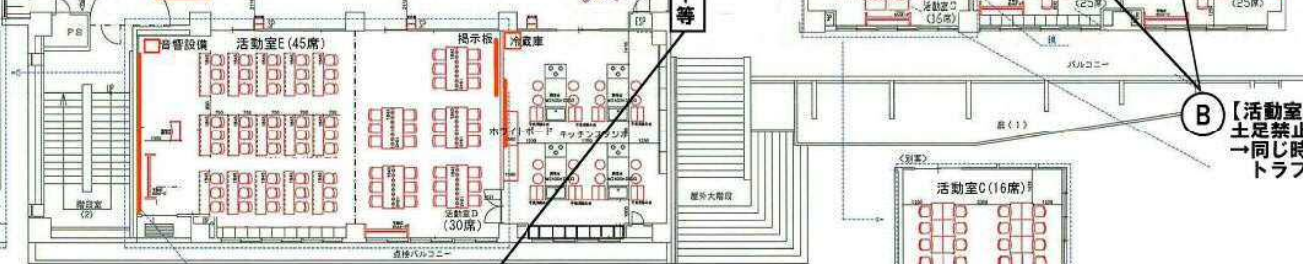
A 【自動販売機コーナー】
共同募金の自動販売機を設置する

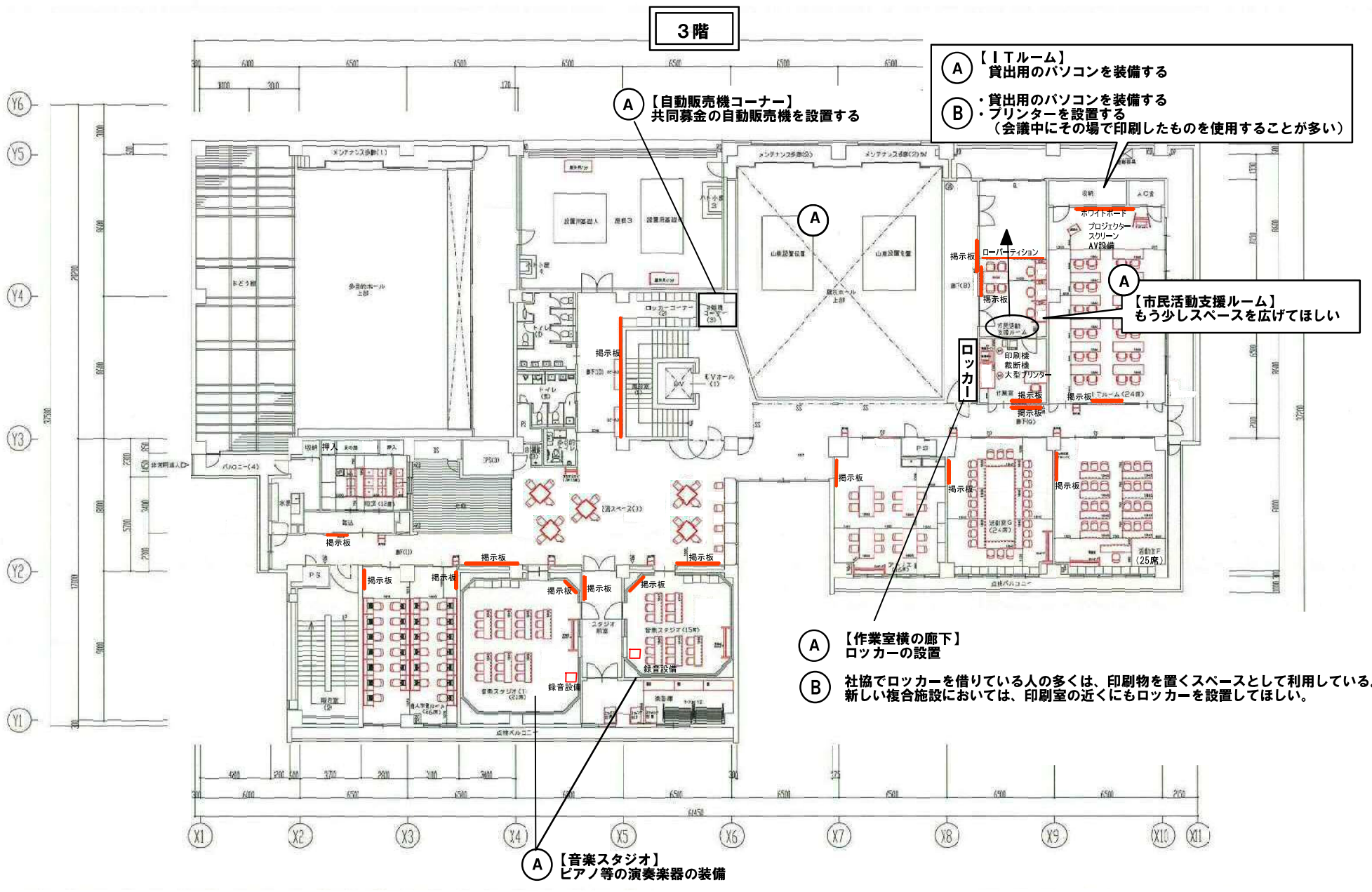
A 【入口】
傘用ビニール、
傘立て等の設置

B 【活動室A】
土足禁止について
→同じ時刻に多くの人が出入りする場合、
トラブルが起きるのではないか

A 【テラス】
空いているスペースが勿体ないので、
プランターの設置や植樹をする

B 【館内】
火災報知器は耳の間聞こえない人にも対応できるものになっているのか
→【補足情報】
C・E活動室は、フラッシュライトを設置する予定





3階

A 【自動販売機コーナー】
共同募金の自動販売機を設置する

A 【ITルーム】
貸出用のパソコンを装備する

B 貸出用のパソコンを装備する
プリンターを設置する
(会議中にその場で印刷したものを使用することが多い)

A 【市民活動支援ルーム】
もう少しスペースを広げてほしい

A 【作業室横の廊下】
ロッカーの設置

B 社協でロッカーを借りている人の多くは、印刷物を置くスペースとして利用している。
新しい複合施設においては、印刷室の近くにもロッカーを設置してほしい。

A 【音楽スタジオ】
ピアノ等の演奏楽器の装備

第10回 市民フラザ跡地複合施設 管理運営ワークショップ なんでもアンケートのまとめ

1. 今日のワークショップについて

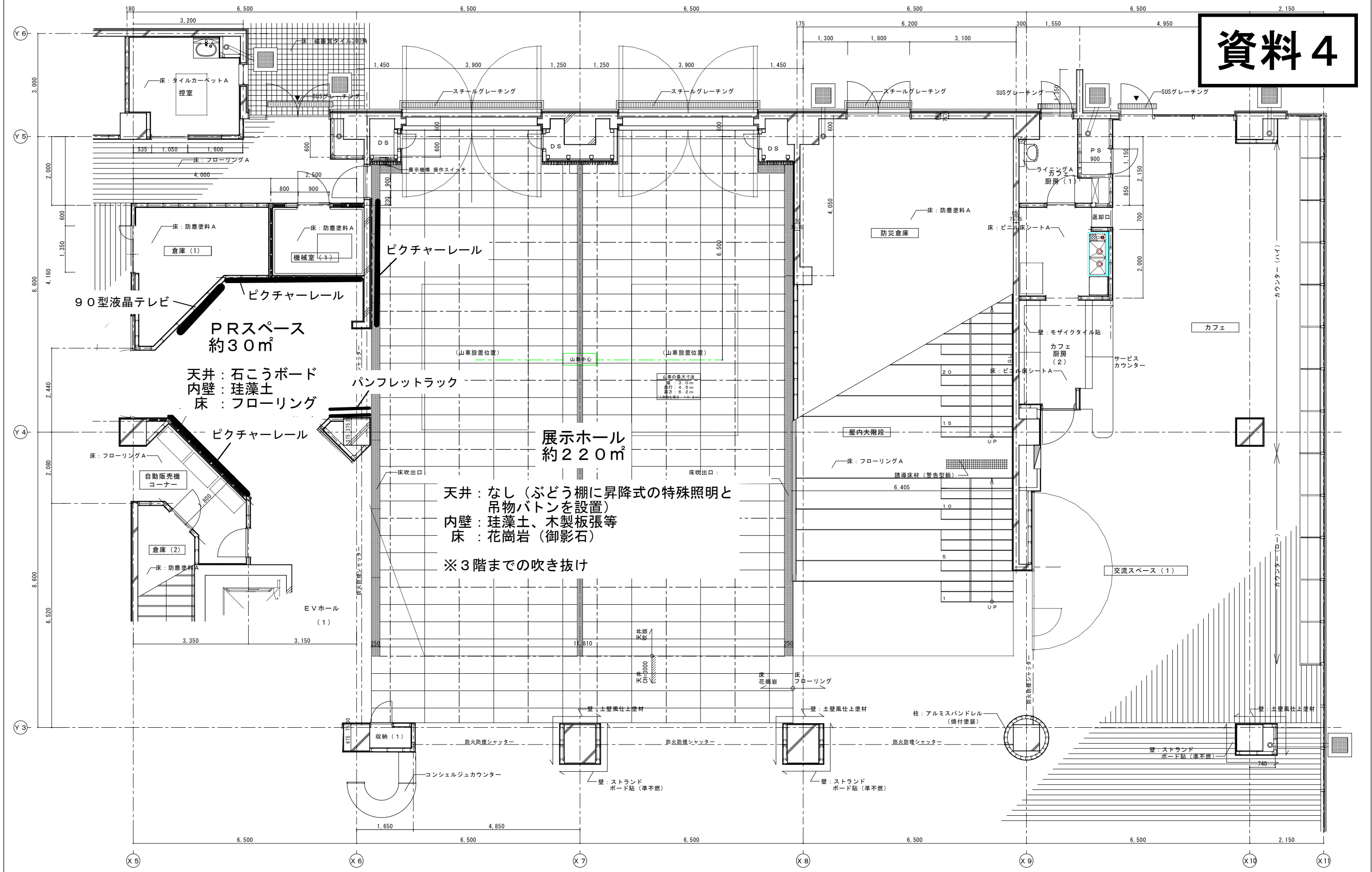
No.	メンバーの皆さんより	事務局より
1	<p>【言い忘れ】</p> <p>○器具等の収納・整理方法についても検討の必要があるのでは？</p> <p>○机・イス等はとにかく軽さが第一です。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。施設内には倉庫が複数あり、多少の備品は収納できると考えていますが、各部屋すべての机やイス等の備品を収納することは想定していません。展示ホールや多目的ホールについては、多用途での利用を想定しているため、備品をすべて倉庫に収納し、すっきりとした大空間での利用もできるようにしていますが、活動室など小さな部屋については、ほとんどの場合、机とイスを並べた状態で利用されることが予想され、建物全体の床面積も限られていることから、収納専用の倉庫は設置していません。</p> <p>したがって、机やイスを利用しない場合には、利用者自らが机を折り畳んだり、イスを積み重ねて部屋の隅に寄せないといけませんので、力の弱い子供や高齢者にもなるべく簡単に作業ができるような机やイスを選定したいと考えています。</p> <p>また、机やイスの配置を変えたときには、次に利用する団体の迷惑にならないように、元の状態にしっかりと戻してもらえるような運営上の工夫は必要かと思っています。</p>
2	<p>○自分の所属することの利便を主張しすぎ。</p> <p>○緊急の対応を少し話して頂けたらもっと良かった。</p> <p>○コミュニティ協議会の事を何も知らない人がいるのには驚いた。</p> <p>○コミ協の事務局移転については、関係課と話し合いたい。</p>	<p>新施設は、固定化された団体だけでなく、あらゆる分野の団体が分け隔てなく利用する施設となります。誰もが使いやすい施設にするために、今回は備品について考えていただきましたが、これまでも部屋の大きさや配置を考える上で、市民の皆さんと意見交換を行いながら設計を固めてきた経緯もあります。どうしても一番良く知っている自分の所属団体を中心に考えてしまうとは思いますが、個々の団体の活動にプラスして、施設のコンセプトでもある様々な分野の団体が交流できる施設となるためにはどうすれば良いのか、メンバーの皆さんの豊富な経験から、知恵をお借りできればと考えています。</p> <p>また、火災等の緊急時の対応ですが、報知器の設置や避難経路の確保等、当然のことながら消防法に適合した</p>

		<p>設計になっていますが、子供や高齢者、障害者など非難に時間を要する方も利用する施設となりますので、建物管理者はそのことも十分考慮したうえで建物全体の利用状況等を把握し、適切な誘導を行わなければならないと考えています。</p> <p>次に、コミュニティ協議会の移転についてですが、平成27年5月末のオープンを見据え、今後も協議を継続し、最善な方法を考えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
3	<p>【感想】</p> <p>参加者が少ないのが残念だと思います。</p> <p>障害者の利用に配慮することは、とても大事なことだと思います。</p>	<p>メンバーの皆さんには、公私ともにお忙しい中、参加していただき本当に感謝しております。早いもので月1回のペースで行っているワークショップも、もうすぐ1年になります。施設オープンに向けての長期にわたるワークショップですので、個人の負担が大きくなるように、都合がつかない時などは、ぜひ、代理の方を選出していただき、気軽に参加していただければと思います。</p> <p>また、あらゆる世代の方々が利用する本施設は、障害者の利用はもちろん、小さな子供から乳幼児を抱えた主婦、高齢者の方々など、ユニバーサルデザインの観点から誰もが使いやすい施設となるように設計しています。社会福祉協議会の事務所も設置されますので、連携を図りながら、障害者や障害者の方々をサポートする方も気軽に利用したくなるような、使いやすい施設にしたいと考えています。</p>
4	<p>【その他】</p> <p>コミュニティ協議会の仕事について知りたいと思います。</p>	<p>コミュニティ協議会は、多様化する社会の中で、時代にふさわしいコミュニティづくりを市民運動として全体的かつ総合的に展開することにより、市民の幸せをめざし心の触れ合う住みよい地域社会を作ることを目的として活動している団体です。協議会は、コミュニティづくり市民運動の趣旨に賛同する生涯学習団体や文化芸術団体、社会体育団体、ボランティア団体等、主に市内で活躍している約150団体をもって構成され、コミュニティセンターを活動の拠点として、コミュニティづくりに関する事業を展開しています。</p> <p>運営については、コミュニティセンター内に事務局</p>

		<p>(専任の職員)が置かれ、分野ごとに次の5つの部会を設置し協議・活動をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 企画部会 (コミュニティまつり・コミュニティスクールなど) ② 環境部会 (花いっぱい運動・全市一斉清掃など) ③ 管理部会 (センターの管理運営・利用団体の調整・きまり) ④ 地域部会 (全市一斉清掃・視察研修) ⑤ 広報部会 (広報の編集・発行) <p>その他の大きな事業としては、ふるさと芸能まつりがありますが、これらの各種事業を実施しながら、地域社会の中で意識の高揚と普及啓発を行い、全市民が一体となった「ふれあいのある社会づくり」を目指して活動しています。</p>
5	<p>【言い忘れ】</p> <p>新潟県見附市の取り組みも大いに参考になるので、調べてみると良いと思います。本日は、具体的なイメージがうかんで良かったです。</p>	<p>市民との協働によるまちづくりを掲げ、ボランティア団体等の市民活動団体とともに、まちの課題に取りくむ自治体が多くなってきました。市民活動が盛んな自治体には、その活動の拠点となる施設があり、そこで活動している様々な分野の団体が他の団体と交流することで情報を交換し、広い視野を持って、生き生きと活躍できる仕組みが整っているケースが多いように思います。</p> <p>本庄市においても、先進的な事例も参考にしながら、新しい複合施設を拠点として、市民活動が益々盛んとなり、行政と手を組みながら様々なことにチャレンジできるような仕組みが構築できればと思っています。これからも素晴らしいアイデアをお願いします。</p>
6	<p>キッズルームについて、是非とも使い勝手のよいようにご検討よろしくお願いします。</p>	<p>キッズルームについては、保育所や児童センターとは異なり、専任の保育士や職員はいませんが、小さな子供を抱えた方でも気軽に施設内のイベントや定期的に行う団体活動に参加できるように、親同士が交代で子供の面倒が見られる部屋として設置したものです。部屋はそれほど広くないので、児童センター等で行っているような親子教室等はキッズルームではできませんが、様々な親子でのふれあい活動を想定し、大型の鏡がある部屋や、プロジェクター用のスクリーンのある部屋、飲食ができる部屋や、土足禁止の部屋などがありますので、目</p>

		<p>的に応じて活用していただければと考えています。</p> <p>キッズルーム内には、柔らかいマットや手荷物等が置けるロッカー、小さな流し台を設置する予定です。使い勝手や備品については、オープン後の状況を見ながら、利用者の声を聞き、より良い方向へと改善できるような仕組みを構築していきたいと考えていますので、今後ともご意見をいただければと思います。</p>
7	<p>だんだん形が見えてきて、次が楽しみになってきた。</p>	<p>今回のテーマは備品ということで、イメージしやすい内容だったと思います。部屋の中に机やイスを配置してみると、施設の使い方がより具体的に見えてきます。今までのイメージとは違った部屋やスペースもあったかと思いますが、誰もが使いやすい施設を目指して準備を進めていきますので、これからもご意見をお願いいたします。</p>

資料 4



PRスペース
約30m²

天井：石こうボード
内壁：珪藻土
床：フローリング

展示ホール
約220m²

天井：なし（ぶどう棚に昇降式の特殊照明と
吊物バトンを設置）
内壁：珪藻土、木製板張等
床：花崗岩（御影石）

※3階までの吹き抜け

X5

X6

X7

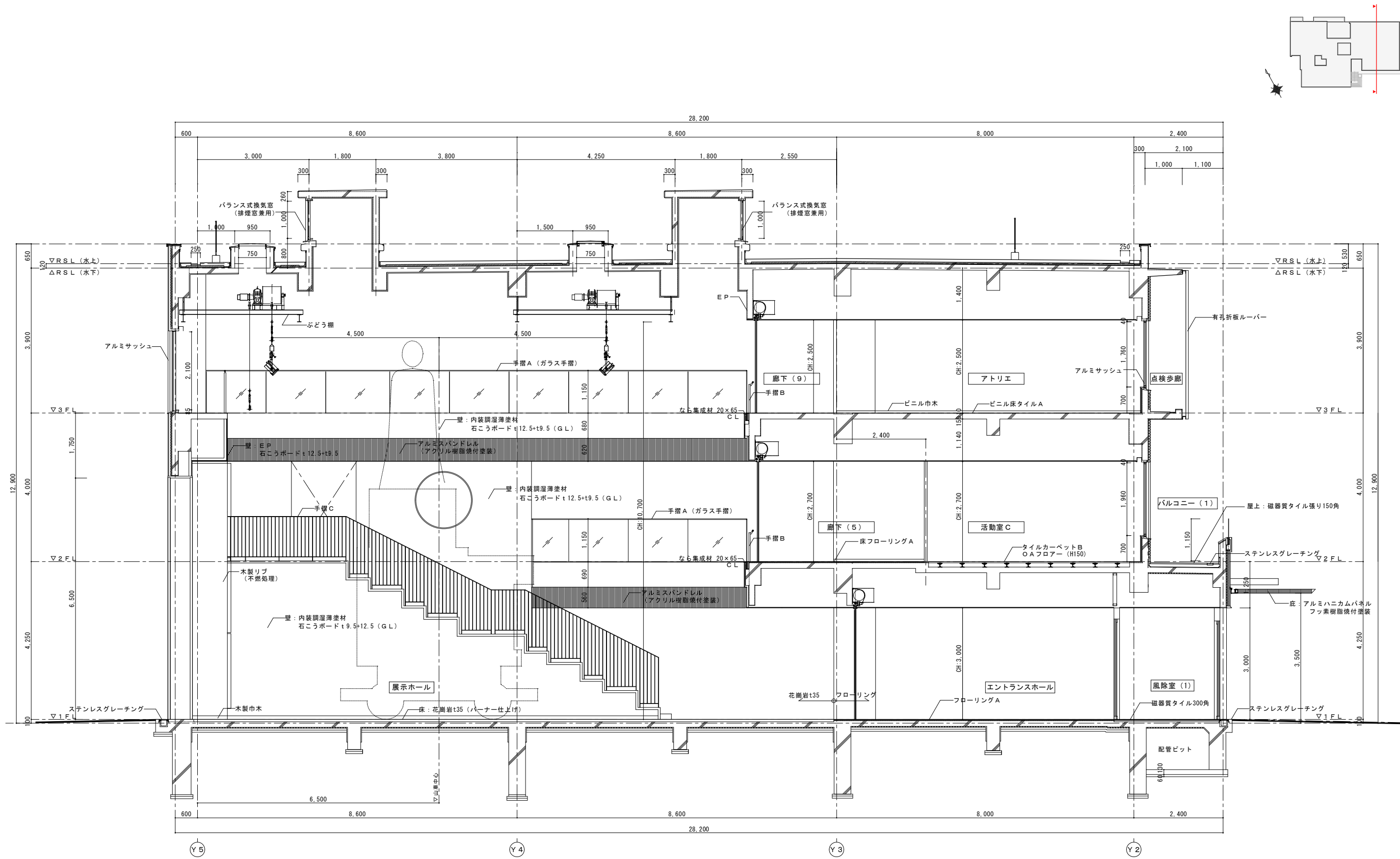
X8

X9

X10

X11

Y6
Y5
Y4
Y3



具体的な活用方法と課題

1. 展示ホール及びPRスペースの位置づけ

- (1) 本施設に複合化される7つの機能の1つ「展示・情報発信機能」の役割を担い、市内外に本庄市の魅力を発信するスペース。
- (2) 様々な分野で活躍している市民のみなさんと知恵を出し合いながら、市民と行政とが一緒になって活用する市民との協働を実践するスペース。

2. これまでのワークショップで出た意見

■展示ホール

【しつらえ】・写真、絵、書、盆栽、手芸等を展示するギャラリーがほしい（基本設計WS）

【イベント】・山車の展示や太鼓や笛の体験（WS②）

- ・障害者団体と市が協力した作品展（WS②）
- ・祇園まつりや祇園まつりのプレイベント（WS②）
- ・ボランティアや各種団体の掲示板の設置（WS②）
- ・文化祭や各種団体の発表会（WS②）

■PRスペース

【しつらえ】・まつりや山車等、市の映像が見られるしつらえにする（基本設計WS）

【イベント】・四季の案内（WS②）

- ・各自治会の紹介（WS②）

3. 具体的な活用方法と課題

■展示ホール

(1) 山車の展示

課題①：展示期間や費用負担等について→山車を所有する自治会と協議中

(2) 各種展示会やイベント等の開催

課題①：具体的に誰がどんな展示会やイベントを開催できるか？

(3) 上記の利用がない時についてはパネル展示

課題①：具体的にどんな内容のパネルが効果的か？

課題②：誰がどんな方法でパネルを作成するか？

■PRスペース

(1) 映像の放映

課題①：具体的にどんな内容の映像が効果的か？

課題②：誰がどんな方法で映像を作成するか？

(2) パネル展示

課題①：具体的にどんな内容のパネルが効果的か？

課題②：誰がどんな方法でパネルを作成するか？

(3) ちらしやパンフレットの設置

課題①：具体的にどんな内容のちらしやパンフレットが効果的か？

課題②：誰がどんな方法でちらしやパンフレットを作成するか？

市民プラザ跡地複合施設 第12回管理運営ワークショップの課題告知**次回ワークショップのテーマ：「ホームページについて」****1. 次回ワークショップのねらい**

第12回目となる次回のワークショップは、新施設のホームページについて考えてみたいと思います。市の情報を発信する方法としては、毎月1日に発行される「広報ほんじょう」や15日に発行される「おしらせ版」のほか、本庄市のホームページがあります。「広報ほんじょう」や「おしらせ版」は自治会を通じて全戸配布されるものの、市外の方や若者への情報発信という点では弱い部分もあることから、市ではホームページの内容を充実させ、あらゆる世代の方々や市外に住む方々に対しても、広報紙に載せきれない細かな情報まで掲載し、積極的な情報提供をしています。インターネットを使い、いつでも、どこでも必要な情報を入手できる現代社会においては、ホームページを使った情報の発信は非常に有効であり、市民からの需要も高いと言えるのではないのでしょうか。

あらゆる分野で活躍する市民団体の活動拠点として整備される本施設は、様々な情報が集まる環境にあります。この特徴を活かして、市内外に広く情報を発信する手段として、ホームページの作成を検討したいと思っています。本庄市の魅力を伝えるだけでなく、市民活動がさらに活発となり、まちの課題に取り組む新たな活動が生まれるように、ホームページを使いどんな内容の情報を発信すべきか、メンバーの皆さんから意見やアイデアをいただければと考えています。次回もどうぞよろしくお願いいたします。

2. 次回の進め方

複数のグループに分かれ、思いついた意見やアイデアを付箋に書き貼り出します。今回は、白紙の模造紙を使い、グループごとに自由に意見をまとめていただこうと思っています。最後に、グループの意見を発表していただき、参加メンバー全員で意見を共有します。